2019MFJ 全日本スーパーモト選手権開幕戦 美浜サーキット参戦レポート

MFJ 全日本スーパーモト S1Open クラス#17 薄井保彦

4 月 7 日愛知県知多半島の美浜サーキットで開催された MFJ 全日本スーパーモト選手権開幕戦に参戦しました。

今シーズンは車両のハスクバーナ FS450 を 2019 年モデルに替えての参戦です。

ただ、車両を替える決断が遅かった為、マシンの入荷が 3 月 26 日。

そこから人とマシンの慣らし、パーツの付け替えやグラフィック貼りを行いなんとか開幕戦に間に合わせました。

派手ですが、ほぼフルノーマルです。

ただ全て順調ではなく、懸念事項としてホームコースの桶川スポーツランドで新型車のタイムが出ません。

車両は確実に進化しているのに 2017 モデルで出したベストタイムの 1.5 秒落ちのタイムまでが限界でした。

乗り換えで車両が無かった為、最終戦以来レーサーに乗っていなかった事や路面温度が低い事が原因だとは思いますが開幕戦を迎えるには心配です。

そんな状況のまま開幕戦。前日練習に入ります。

同じクラスのライダーで記念撮影。2 人程写っていないですが、それでも S1Open クラスは多いですね。

今年はターマック区間でハングオンをせずに足出しスタイルでなるべく前荷重での走行を心がけます。

去年まではほぼハングオンで走っていてどうしても荷重が後ろ寄りになりリヤサスの要求が上がりバネレートを上げる。

結果、苦手なダートでさらに乗りにくいマシンに仕上がるという悪循環だったのでそれを断ち切るのが狙いです。

前日走行ではタイムはあえて計らずに体の慣らしの続きです。

とはいえ他のライダーと一緒ですから自分が周りに比べて速いか遅いかは判ってしまいます。

結果から言えば遅いんですけどね。

前日走行はダートで 1 回転倒のみで他の選手に比べ遅く感じる以外はトラブルもなく終了。

タイヤを新品に履き替え、エアクリーナを替え、車検も無事通過で 1 日目終了です。

宿で監督にダート区間の走りの画像を見てもらいアドバイスを受けます。

乗り方を変えているので遅くなるのは仕方なく、ここで以前の乗り方に戻さずに壁を乗り越えれば必ず速くなるとの言葉を

貰いますが、とはいえレースですから結果は残したい。

悩みどころです。

いよいよ決勝レース当日。

雨の心配のない良い天気です。タイム出てないので雨降ってくれた方が良い順位出せそうですが、やはりドライのレースは気持ちの良いものです。

ここからはトランスポンダーを装着するのでタイムが明白になってしまいます。

まず、公式練習。

2019 モデルは今までの 2017 モデルよりトルクが厚くなりさらに馬力も上がっているようでターマックは速い。

ですが、今回前日練習からなぜか一度も散水していないフカフカのダートがとにかくうまく走れず、去年まで飛びきれていたテーブルトップ状のジャンプも飛びきれず気持ちだけ空回りで腕に力が入りさらにダートで緊張してしまいます。

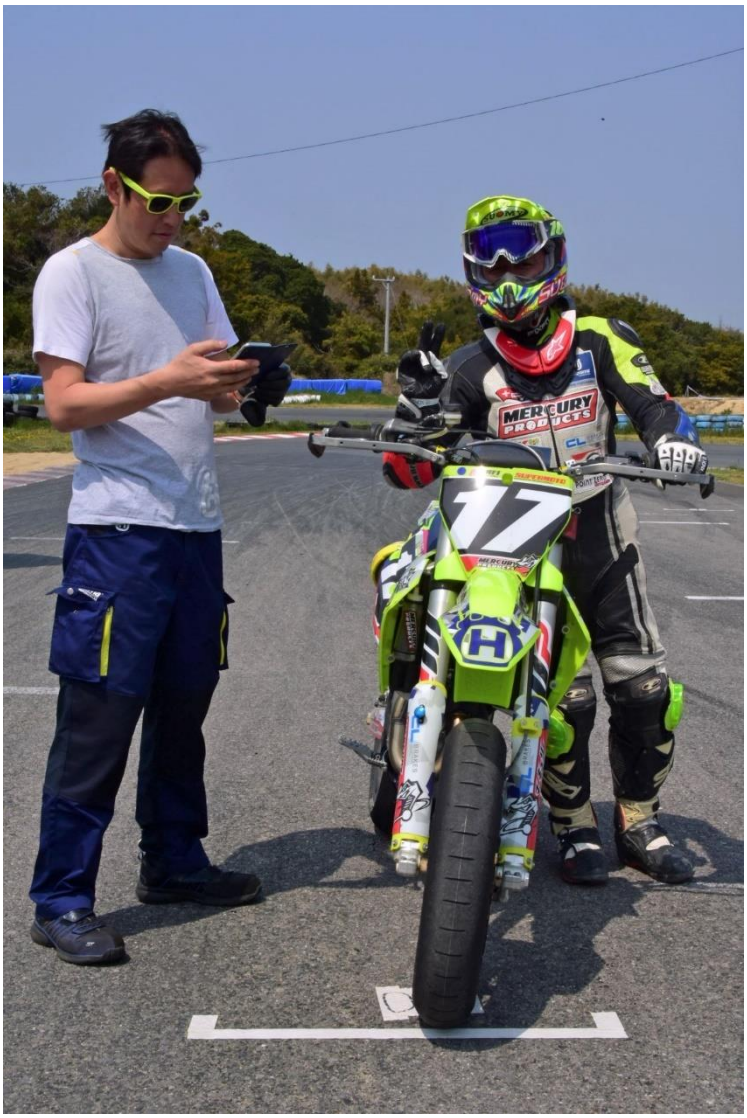
結果 22 台中 20 番タイム。

予選タイムアタック。

少しでも順位を上げたく早めの順番でコースイン。それが裏目だったか前には付いていけずこんなタイムなので後続車に抜かれリズムが取れずフルアタックできたかな？と思える周回は 2 周のみ。公式練習より 2 秒タイム上げても順位変わらず

20 番手タイム。

20 番グリッドで決勝のグリッドを決めるヒートレース。



後ろに誰も写ってないさみしいグリッドです。

スタートが上り坂の美浜サーキット。この位置からのスタートだと 1 コーナーまでの距離もあるのでスタートでとにかく前へ出るしかありません。

スタートでミスらない様、前のクラスのシグナルのタイミングも見てイメトレもバッチリ。

いよいよレーススタート！

作戦通りスタートで前に出ます。が、1 コーナー2 コーナーでの混乱は台数が多い為この位置だとモロに食らい、何番手か判らないけど後ろに数台はいる模様。さらに転倒もあり 2 つ順位が上がるも数台には抜かれあと 4 周くらい。後ろからのプレッシャーを感じながらも順位は硬直状態のままラストラップ。ダートでついに後ろにいた鹿野選手に抜かれてしまいます。

なんだかんだで 17 位。3 つポジションを上げました。

でもこのままだとノーポイント。決勝は何とか 15 位以内に入らないといけません。

昼休みを挟み決勝レース。

1 列前に来ましたが一番アウト側。ホントはイン側が良かった…

タイムを見る限りスタートでかなり前に出ないと厳しい展開になるのは明白です。というか、タイム的にはヒートレースでも 20 位。スタートは絶対にミスれません。

そしていよいよ決勝スタート。アウト側から一気に前に出るも 1 コーナーはイン側有利で少し後退。2 コーナーはねじ込み隊列の中に。ダートは渋滞気味ですが土煙がひどくみんな様子見。第 2 ダートは少し散水されていて走りやすい状況になって安心して走れます。決勝でやっとテーブルトップも安定して飛びきれるようになり、やはり乗ってないのが一番影響している事を実感。

2 周廻ってサインボードを見ると P14 表示。このまま行けばポイント圏内。

まあ、そう甘くはなく、ミスで後退していた選手に抜かれ、いつもの好敵手福沢選手にも抜かれ P16。12 周のレースは硬直状態。タイム的には後ろの選手の方が明らかに速い為気を抜けませんが、ハードなコースで上半身に疲れが出始めます。

徐々に前が離れてきてしまいますが、あきらめずプッシュしているとチームメイトの広瀬選手と大野選手が転倒しています。

これでまた 14 位に浮上。そのまま後続を抑えきりなんとかゴール！

週末ずっとタイムが出ない中、何とかレースをまとめて 2 ポイントですがゲットしました。

美浜サーキットは気持ちよく走れるのに骨折 2 回、たぶんドライでのポイントゲットは今回が初の相性の悪いサーキット。

ちょっと厄払いが出来た気分です。

次戦は熊本に行こうか、熊本はキャンセルでエビスまで練習に励むか、今猛烈に悩み中。

マシンは確実に進化しているし、少しだけ好みにしたい部分のブレーキマスター、ブレーキパッド、フルード、チェーン、スプロケット、エンジンオイル、シフターも最高のフィーリングで後は乗り手が進化するだけなので次戦熊本にせよエビスにせよ走りこんで完璧な状態で参戦したいと思います。

全日本スーパーモト S1Open クラス＃17 薄井保彦